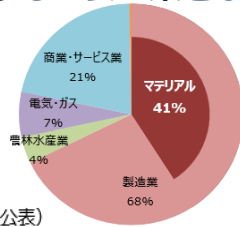


構想概要

島根県の主要産業であるマテリアル関連産業の発展と、研究開発型企业への転換を目指す地域産業界を、島根大学が研究と人材育成の両面から牽引し、地域産業を活性化し島根創生を実現する。

島根県の強み・特色

マテリアル関連産業は、域外から「外貨」を獲得する主要産業として県経済を牽引



島根大学の強み・特色



超耐熱合金素材等金属材料分野における国内トップレベルの教育・研究

H30 内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」に、島根県が申請し島根大学も参画する「たたらプロジェクト」が採択

次世代たたら協創センター（NEXTA）を設置し、Oxford大学から超耐熱合金の世界的権威であるRoger C. Reed教授をセンター長に招聘

令和4年度の取組と成果

✓ 地域期待の材料エネルギー学部スタート！（R5.4設置）

- ・初年度は入学定員80名に対して**86名が入学**
県内入学者割合：**44.7%**（大学全体:26.7%）
女子学生割合：**25.9%**（工学分野の女子学生全国平均:15.2%）

✓ 学長のダイレクトスカウトによるトップレベル研究者の招聘

- ・東北大学や大阪大学等から**16名を専任教員として新規採用**し、21名体制（R5.4現在）で教育・研究推進
- ・室蘭工業大学から日本鑄造工学会会長である教授をクロスアポイントメント契約で招聘



✓ 教育の中核となるアントレプレナーシップ教育始動

- ・東大産学協創推進本部ディレクターによる4年一貫のアントレ教育を構築

✓ 研究環境、イノベーション・コモンスの整備

- ・材料エネルギー学部棟（令和6年度完成予定）の1フロアを島根県からの支援を受けて地域産業の共創の場として整備

外部資金獲得 R5.6月時点で**約2,400万円の外部資金獲得、共同研究推進**

✓ 緊密な地域連携体制の構築・連携体制強化

- ・材料エネルギー学部には島根県知事等外部有識者を含む**学部経営会議を設置**し、社会・地域ニーズを直接学部の評価・運営に反映
- ・これまでの島根県等産学官金が一体となった地域連携プラットフォームに加え、**「島根大学しまね産業振興会議」を新設**
- ・島根県庁元職員（部長級）を地域連携担当学長特別補佐として任用

✓ たたらプロジェクトの推進・強化

- ・地方大学・地域産業創生交付金事業（展開枠）に採択
- ・新たに**Cambridge大学**から女性研究者でRolls-Royce UTCのディレクターを務めるCatherine Rae氏を客員教授として招聘

✓ 研究インテグリティ等経済安全保障に係る体制強化・整備

今後の構想推進計画

✓ 材料科学分野における教育・研究の強力な推進

- ・専任教員の拡充
- ・施設・設備等整備
- ・共同研究推進・外部資金獲得
- ・島根県・県内外産業界との連携強化
- ・全学的な産学連携基盤システムの構築

社会実装

エネルギー改革 大学改革

- ★ **マテリアル起点の製造業DXを推進**
- ★ **エネルギー戦略をベースに革新的素材開発・研究**

産業構造の転換を実現し、**魅力ある産業・雇用を創出**

国内外から**優秀な人材や企業を呼び込む**

地域の産業振興のハブとして機能